

メインイベント

9月10日(日) 13:30～15:30

入場無料 申込不要  
託児あり 手話通訳あり

おせっかいぎ in 高岡 **地域から未来を考える**  
—高岡市男女平等推進プラン(第2次)を活かすには—



◆基調講演 センターの役割と可能性を考える

《コーディネーター》

せやま のりこ  
瀬山 紀子さん

埼玉県男女共同参画推進センター事業コーディネーター  
全国女性会館協議会常任理事  
淑徳大学非常勤講師(ジェンダー福祉論)  
お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士前期課程修了(社会学)

ウイング・ウイング高岡  
1階 交流スペースA

◆パネルディスカッション

《パネリスト》

- 村田 芳朗さん(高岡市副市長)
- 大坪 久美子さん(NPO 法人Nプロジェクトひと・みち・まち)
- 越野 誠子さん(NPO 法人ハッピーウーマンプロジェクト)
- 柳 美喜子さん(NPO 法人親と教員の会こどもその)

～タイムスケジュール～

13:00 開 場  
13:30 開 始  
15:30 終 了

めいとのひろば

「めいとのひろば」では、  
活動登録団体の取り組み  
をご紹介します！

被害にあったり、困っている人が少しでも笑顔になり、喜んでもらえたら嬉しいです。

同年代の子供たちが被害を受けているということを想像してくれるだけでも嬉しい。  
制服のリユースなど、必要としている物資がなかなか集まらないなど課題もあるが、子供たちは可愛いものが欲しい年頃なので、中学生から提供していただく品物は本当にありがたいです。

6月21日、高陵中学校で慈善活動をするJRC委員会の坂口 遥夏さんと本安 和樹さんがセンターを訪れ、高岡 DV 被害者自立支援基金 パサパの代表、向 富士子さんへ日用品を寄付しました。

以前は、海外への支援を主に行っていましたが、地元への貢献もしたいと考えていたところ、2013年にHPでパサパの活動を知りました。そして自分たちが出来る事として全校生徒に呼びかけ、日用品の提供を募りました。

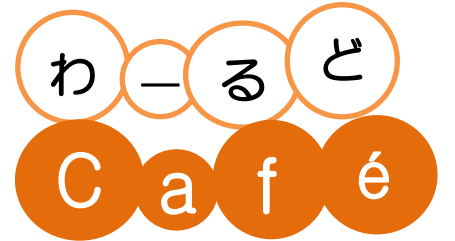
今回の寄付は4回目となり、寄付された日用品は、DV被害者の家庭や貧困家庭へ提供されます。



センター企画講座

6月24日(土)

みんなで支える介護・看護



《ファシリテーター》

きし やすひさ  
岸 靖久さん

(活動登録団体：

いあん・いあしい・Café 代表)

毎年、男女共同参画週間に合わせて行われる企画講座が、今年度は男女平等推進センターと男女共同参画推進員高岡連絡会博労地区(ミニ地区懇談会)の合同企画で、6月24日に博労公民館にて開催されました。

講座は「みんなで支える介護・看護」と題し、カフェにいるようなリラックスした雰囲気の中でテーマについて本音で話し合う、ワールド・カフェ形式で行われ、いあん・いあしい・Café 代表の岸さんの進行で介護や看護について意見が交わされました。

参加者は4、5人のグループに分かれ、途中席替えをしながら自由にお互いの意見を交わしました。最初は緊張しながらも、家族の介護や看護の苦勞、工夫している取り組み、自身が介護される側になった場合の不安など熱心に話し合っていました。

受講後には、「様々な立場の方から色々な話を聞いてとても参考になりました」、「大変良い気分転換の機会になりました」などの感想がありました。

今回の講座では新たな気づきや学びが得られただけでなく、日常生活の息抜き、そして人との繋がりを感じることができ、参加者は有意義な時間を過ごせたのではないかと感じました。

この講座の様子は、富山新聞(6/25)・北日本新聞(6/26)・北日本新聞地域コミュニティ紙「まいたうん」(7/16)にも取り上げられました。

パネル展示



高岡市役所1階ロビー

《展示内容》

- ・高岡市男女平等推進プラン(第2次)
- ・高岡市DV対策基本計画(第2次)
- ・ワーク・ライフ・バランス推進事業所の紹介など

男女平等推進センター サロン

